

National
Parks
of Japan



環境省

国立公園で目指す 上質なツーリズム

2023年 6 月

環境省自然環境局国立公園課・国立公園利用推進室



自然公園法の目的

- 優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与する。

自然の風景地

優れた自然の風景地
(多様な生態系を包含)

優れた自然
(生態系、希少種・・・)

保護と利用





「教化」の問い直し

○自然公園法の目的

優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与する。

ここでいう「教化」とは、すぐれた自然の事物、風景から受ける教育感化をいうのである。必ずしも博物館、水族館、動物園等の人為的な施設によるもの、あるいは、風景地に存するこの動物、植物、地形、地質等によるもののみに限らず、大自然の景観に接して偉大な教訓を受け、あるいは、日常体験し得ない感銘を受け、これによって心身ともに爽快の気が横溢すること等をも指すものである。

『自然公園法の解説』

(国立公園法提案理由説明)

「国立公園を設定する目的は、優秀なる自然の大風景地を保護開発して、一般世人をして容易に之に親しましむる方途を講じまして、国民の保健休養乃至教化に資せんとする為であります」 昭和6年2月24日 第59回帝国議会衆議院



国立公園が提供する価値

- 日本の国立公園は自然の豊かさだけでなく、人の暮らしが息づく場としての価値がある
- 多様な自然を背景として長い間積み上げられてきた地域独自の文化や歴史が魅力

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。



ブランドメッセージ

その自然には、物語がある。



物語 = 風景の成り立ちと価値の言語化

顕著な普遍的価値

何を大切にし、来訪者に何を伝えるのか

- ix) 生態系：海氷の影響を受けた海と陸の生態系の豊かなつながり
- x) 生物多様性：動植物ともに北方系と南方系の種が混在することによって、多くの希少種や固有種を含む幅広い生物種が生息・生育するなど、生物の多様性を維持するために重要な地域



知床連峰



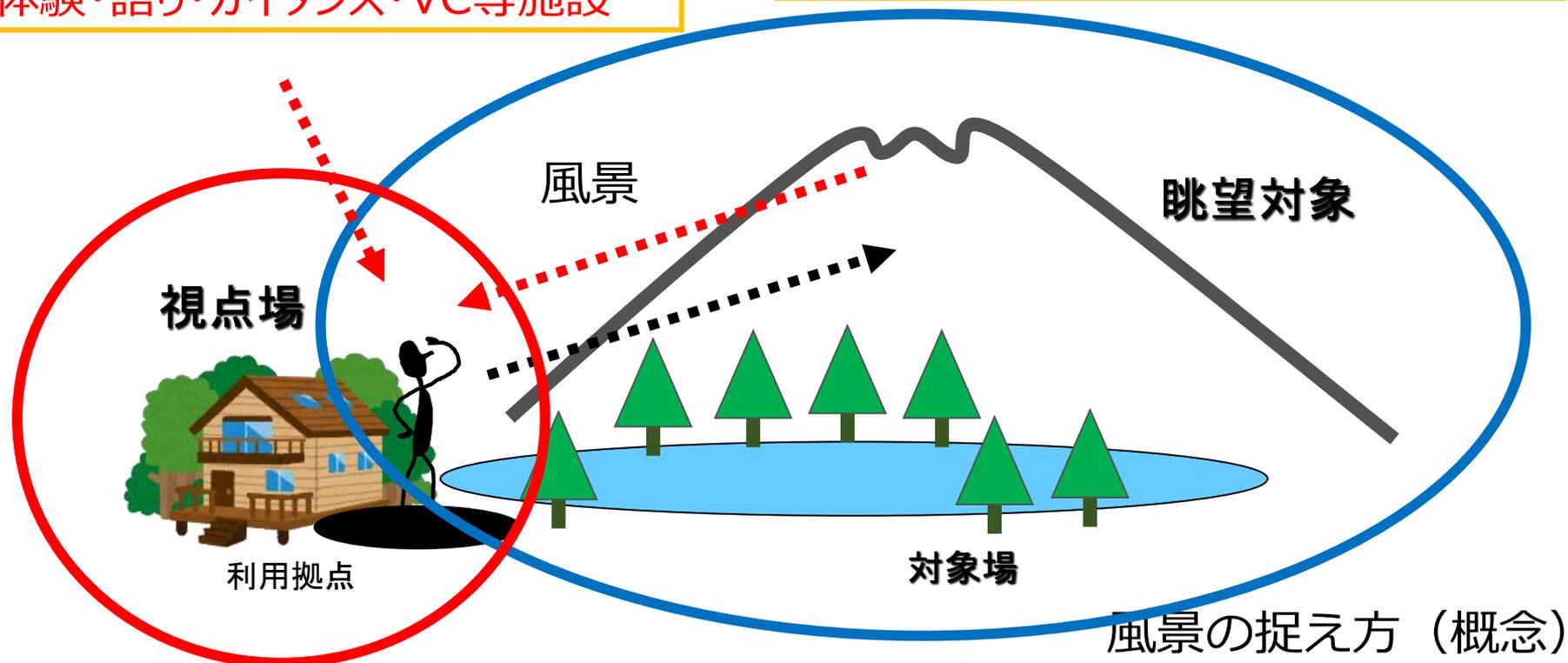
熊越の滝



風景地の捉え方

情報（ストーリー・保全の仕組み）
体験・語り・ガイダンス・VC等施設

情報の提供と啓発の計画
＝インタープリテーション全体計画



「風景の**利用**」と「風景の**保護**」

「**情報**」の付加による「**感動**」と「**学び**」
→Transformation（意識変容、行動変容）

上質なツーリズムの5つの要素



物語 (ストーリー)

◆ 自然の成り立ちと人の営みを伝える



ツアー化

◆ 宿泊と移動を組み合わせ
商品化

インタープリテーション

◆ 感動と学びをサポート



体験コンテンツ

◆ 自然や文化を五感で体験

ルール

◆ 保護と利用の好循環を生む仕組み





インタープリテーション全体計画

- Why(なぜ) : 使命・目的
- What (なにを) : 扱うモノやコト
 - ・ 重要な資源 : 地域や施設が持っている、重要な資源のリスト
 - ・ テーマ : メッセージ
 - ・ 望まれる来訪者の経験 : ビジターにどのような経験や体験をしてほしいか
- Who (だれに) : 利用者の類型と分析
 - どのような利用者が来ているのか、あるいは来ていないのかを整理し、ターゲットを想定する
- When Where (いつ、どこで)
- How (どうやって) : 具体的な媒体
 - インタープリテーションのメディア (媒体) をリストアップする



包括的なインタープリテーション計画

「インタープリテーションと教育のガイドライン」
(訳：インタープリテーション協会)

テーマ：

テーマは、公園について人々に伝えられるべき、最も重要な知識や概念を定義します。公園資源に備わった有形、無形の意義や普遍的な概念を伝えるものです。明解な言葉で表され（通常1、2文で表現されます）、主題と副題に分けられることもあります。意味を明確にするのに役立つのであれば、さらに情報を付け加えてもよいでしょう。これらの定義によって、公園の資源はより大きな過程やシステム、考え、価値観などにつながりを持つようになります。テーマはまた、公園が示す教育的なメッセージの核となるものを定義するのに使われるべきです。テーマはインタープリテーション活動や教育プログラムの基盤となります。

望ましい来訪者の体験：

インタープリテーションに関連する来訪者の体験を述べたものであり、前述の目標と重要性・テーマ・運営目的などに基づいて、インタープリテーション活動がどのように来訪者の身体的、知的、情緒的体験を高めるかを定義します。「来訪者体験の目標」は、どのような機会を人々に提供し、公園体験の結果、インタープリテーションが人々の考え方や感じ方、行動をどのように変化させられるかを提案します。また教育プログラムについては、教育プログラムに参加すると、指導員や教員、生徒たちがどのような体験をするかを述べます。

インタープリテーションに携わる人材の育成指標

	接客スタッフ 観光案内所の窓口担当者 観光バスのドライバー等 幅広い観光事業者	インタープリター・ガイド ガイドプログラム等の担当者 /インタープリター初級	ディレクター 現場オペレーターレベル	プロデューサー 行政・観光協会・施設・団体等 マネージメント担当者
知識	インタープリテーションとは何か	インタープリテーションの歴史 定義、原則、特徴	インタープリテーションの現在や 社会的背景に関する深い理解	地域の資源の保全や地域振興等に 関連する幅広い理解
	インタープリテーション の役割の理解	地域や団体、地域の社会教育等に おけるインタープリテーションの 役割の幅広い理解	より幅広い来訪者対応の想定	人事や労務等、組織運営に関する知識
	保全や地域振興に関わる 考えの理解	地域や施設の資源に関する理解	体験学習法等の学習理論の 理解と活用	インタープリテーションに関する 深い理解
	地域情報の把握		インタープリテーションの様々な メディアとスタイルについての理	
技能	拠点施設のカウンターやフロア 等において来訪者体験を高める	代表的な資源について適切な ガイド・解説をすることができる	インタープリテーションに関する 調査の技能	マーケティングの技術
		参加者との共創的な コミュニケーション	プログラム構成のデザイン	インタープリテーション全体計画の 策定
			プログラムの開発	インタープリターの人材育成の計画
			ファシリテーション	関係者間の衝突回避・問題解決 (conflict management)
あり方 働く 姿勢	サービス精神/フレンドリー	資源やインタープリテーション方法 の探求	クライアント、地元行政、地元諸 団体、全国ネットワーク組織など	評価の設計と実施
	地域が好き	参加者の問いを歓迎できる/多様な 意見を受け止めることができる	新しい方法を創ろうとする態度や 遊び心	他分野や異業種との新しい協働関係 の 構築ができる
				地域や社会の持続可能性に対する情 熱
				未知の分野にチャレンジする姿勢
	ユニバーサル・コンピテンシー チーム/組織/社会の中での自分の役割を見つけることができる フィードバックを歓迎できる。(成長しようとする意欲がある) インタープリテーションで地域や社会をよくできると考えている ポジティブである 自分のバイアスに気づき克服しようとする意思がある			



施設整備はインタープリテーションの1手法

施設整備は国立公園のストーリー伝え、望まれる体験を提供するためのもの
VCはアドベンチャートラベルで注目度アップ！



【妙高戸隠連山国立公園】

標高約700mの妙高山麓に位置する“いもり池”脇にビジターセンターがR4.4にオープン。
ツアーデスク、ミュージアムショップ、開放感のあるカフェラウンジが整備された。
フィールドでは環境省・市・住民・ボランティアによる保全活動が展開。



【慶良間諸島国立公園】

国立公園の利用拠点となる「青のゆるる館」がR3.10にオープン。島でのリトリートな滞在に、リラックススペース、**島ならではの食事や商品提供、サンゴ礁の保全への共感を促す展示**を整備。観光協会が運営主体となり、地域に根ざした管理運営を実施。

JR九州ななつ星 体験コンテンツ（地獄体験ココタッチ等）

- ・JR九州 クルーズトレイン本部と共同で造成。3つの体験コンテンツをプロデュースし、2023年1月より雲仙観光局が運営している。
- ・ななつ星という超豪華寝台列車の顧客を受け入れることで雲仙のブランディングが進み、雲仙観光局としてノウハウの構築も図る。



地獄体験ココタッチ



雲仙ネイチャーフィールドウォーキング

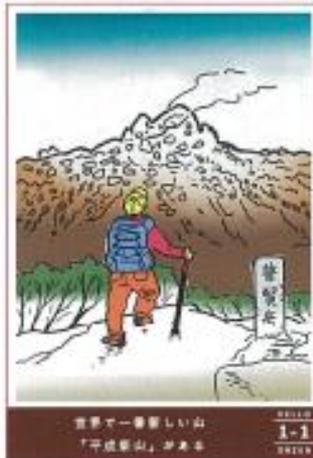
界 雲仙 温泉のいろは

- ・星野リゾート 界雲仙と共同で造成。イラストからシナリオまでトータルプロデュースし、2022年11月より運営している。
- ・星野リゾートというブランドと共同で造成することで、雲仙のブランディングが進み、雲仙観光局としてノウハウの構築も図る。



雲仙温泉地区インタープリテーション全体計画簡易版

- ・まずは分かりやすいイラストで、各事業者が手に取ってもらい、見てもらうことが狙い。
- ・17のストーリー立て、裏面は日本語と英語のキャプションを記載している。
- ・各事業者の立場でお客様に伝えてもらい、お客様の期待に応えることで、更に学びの意欲を掻き立て、インタープリテーション全体計画本編にて事業者自らが学ぶことを期待する。
- ・雲仙観光局としても、各事業者の学びの機会を創出する。
- ・次年度以降、簡易版のイラストを商品化（はがき、バッジ等）を検討する。



世界で一番美しい山
「平成雲仙」がまる
2019
1-1
2020

Find UNZEN マップ

- ・IP計画にて整理したコンテンツをイラスト化して掲載した。
- ・観光地、宿泊施設、飲食店、土産店等の情報を最新版にするべく、ヒアリングを実施した。
- ・雲仙温泉と小浜温泉は同じ行政区にありながら別々の訴求をしていたため、まずは統合したパンフレットを作成し、回遊性を促進する。
- ・海と山の近さ、高低差、コンパクトさを表現でき、地域の一体感の醸成を図る。
- ・今までのマップと比較しても、地域からの評判がよく、追加発注も多い。



国立公園のブランドプロミス (2023年6月決定)

- 国立公園のブランディングを強化するためブランドプロミスを定め、国立公園の管理運営に関わる関係者間の共通理解の下、全ての国立公園において、環境省と地域・関係者が一緒に、ブランドプロミスの実現に取り組む。

ブランドプロミス (国立公園が来訪者・地域に約束すること)



感動的な
自然風景

サステナビリティ
への共感

感動体験を支える
施設とサービス

自然と人々の物語を
知るアクティビティ



国立公園のブランドプロミスとブランディング活動

ブランドメッセージ

その自然には、物語がある。

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない**唯一無二**の感動や体験ができる。

ブランドプロミス (国立公園が来訪者・地域に約束すること)

◎感動的な
自然風景



◎サステナビリティ
への共感



◎自然と人々の物語
を知るアクティビティ



◎感動体験を支える
施設とサービス



ブランディング活動 (ブランドプロミスを実現し続けるため、環境省が地域・関係者と一緒に取り組むこと)

- ①自然・生活・文化・歴史を把握し、物語（ストーリー）を明らかにし、保護と利用の方針を定め、行動計画を作成します。
- ②地域のコーディネーターとして、地域の多様な主体と一体となって公園管理や魅力の発信に取り組みます。

③自然の風景や野生生物、生態系を保護・再生します。

※二次的自然の維持管理も含む

④利用のルール、限定体験、利用者負担等に取り組み、公正な利用とその対価が保護に再投資される仕組みをつくります。

⑤脱炭素化や地産地消などに取り組み、持続可能な地域づくりに貢献します。

⑥物語(ストーリー)に沿った魅力的な自然体験コンテンツと体験コースをつくります。

※物語（ストーリー）とは、自然・暮らし・文化など地域の資源をつなぎ、その風景地の成り立ちや価値を伝えるもの

⑦集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上を図ります。

⑧魅力的な利用施設の整備・管理を進めます。

⑨統一したメッセージ、デザインを活用し、国立公園に関する情報を広く発信し、理解拡大に努めます



上質なツーリズムによる保護と利用の好循環

感動・学び

- ・ 地域への経済効果
- ・ 自然資源の保全への理解と再投資

⑤ ツアー化

④ 体験コンテンツ

② ルール

③ インタープリ
テーション

① 物語（ストーリー）

地域社会

自然資源